

## 解答

一

- 問一 ① さか「らって」 ② ふだ ③ かくいっ ④ ちよすいち ⑤ くちよう  
⑥ 注「ぐ」 ⑦ 浴「びる」 ⑧ 白状 ⑨ 候補 ⑩ 警笛
- 問二 A エ B エ
- 問三 ア、オ
- 問四 ① ウ ② イ
- 問五 じっくり
- 問六 左側に
- 問七 エ
- 問八 イ

二

- 問一 論理的誤りに対する文章の寛大さ
- 問二 誤解
- 問三 文章には厳格なルールがないから。
- 問四 佐藤さんと、鈴木さんの息子さんに会った。
- 問五 ウ、オ
- 問六 斜め読み耐性を持つ文章
- 問七 W：いつ、どこで、だれが、何を、なぜ
- 問八 H：どのように
- 問九 エ
- 問十 ウ
- ① プログラム ② 文章 ③ 実務文
- ④ 同意を求める文章 ⑤ 同意を求めない文章

三

- 問一 ニ学期になると図書委員たちが貸し出し当番に来なくなること。
- 問二 望美
- 問三 イ
- 問四 情報が「現物」になって、目にみえるのが記憶の「役に立つ」から
- 問五 自分のレビューした本が借りられたら嬉しい気持ちは一緒のはずだから。
- 問六 大きい
- 問七 ウ
- 問八 イ
- 問九 ア
- 問十 ア
- 問十一 エ
- 問十二 イ

## 解説

二

問三

「文章には厳格なルールがないので・・・あいまいさが入り込んでしまいます。」と述べられています。

## 問五

「自分のレビューした本が借りられたら嬉しい気持ちは一緒のはずだから、そこだけは正直に伝えようと描写されています。」